

中学校

第2学年 保健体育科「がん教育プログラム」モジュール活用例

1 単元名 健康な生活と疾病の予防 ア 知識  
(イ)生活習慣病と健康 (ウ)生活習慣病などの予防

2 本時の目標

- ・より良い生活習慣やがん検診が、がんを予防するのに有効な手段であることを理解する。【知識・理解】
- ・がんについて正しく理解し、予防のために自分ができることを考える。【思考・判断】

3 本時の展開

<文部科学省補助教材 中学校・高等学校版「がん教育プログラム」モジュール1・4・5活用>

段階	学習内容と活動 ●発問	○教師の指導・支援 ○評価	資料
導入 5分	<p>1 本時の学習内容について確認する。</p> <p>●がんについて知っていることはあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こわい ・治らない ・苦しい</li> <li>・死んでしまう ・痛い ・長い入院</li> </ul> <p>●がんについて、どんなことを知りたいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんはどんな病気なのか</li> <li>・みんながんになるのか</li> <li>・どうすれば予防できるのか</li> </ul>	<p>○がんについて知っていることを自由に発表させる。</p> <p><b>※がんに関する内容を扱うにあたって、生徒への配慮を行う。</b></p> <p>○がんは身近な病気であり、詳しく知りたいなど興味を持つことができるようにする。</p>	
	<p>がんについて正しく理解し、どのように予防すると良いか考えよう。</p>		
展開 35分	<p>2 がんについての理解を深める。</p> <p>●健康な体がどうなることを「がん」というのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞が変異し、それが修復できなくなる病気</li> </ul> <p>●がんの原因は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たばこ ・酒 ・肥満</li> </ul> <p>(主な3つの原因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細菌、ウイルス</li> <li>・生活習慣 ・遺伝的原因</li> </ul> <p>3 がんにならないためにできることを知る。</p> <p>●がんにならないために自分たちにできることは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの原因の中で、どれなら気をつけられるか</li> <li>・生活習慣なら自分で気を付けることができるか</li> </ul>	<p><b>※個別に配慮する生徒を確認しておく。</b></p> <p>○[モジュール1]スライド1~6を用いてがんのしくみを説明し、感じたこと等をノートに記入させ、発表させる。</p> <p><b>※外部講師(医療関係者)にがんの発生について説明してもらおうと効果的</b></p> <p>○がんの原因について、思いつくものを自由に発表させる。</p> <p>○[モジュール4]スライド1~5を用いてがんの要因には様々なものがあることを理解できるようにする。</p> <p><b>※外部講師(医療関係者)にがんになる原因を説明してもらおうと効果的</b></p> <p>○自由に考えさせた後、ノートに記入し、グループで話し合い発表させる。</p> <p>○細菌を防いだり遺伝はどうすることもできないが、生活習慣は変えられることを押さえる。</p> <p>○発表後、[モジュール4]スライド6~11を用いて、禁煙や節酒など望ましい生活習慣が大切であることを理解させる。</p>	<p>文部科学省補助教材「がん教育プログラム」モジュール1</p> <p>文部科学省補助教材「がん教育プログラム」モジュール4</p> <p>文部科学省補助教材「がん教育プログラム」モジュール4</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●どのような生活を送るとよいのだろうか。</li> <li>・たばこを吸わない</li> <li>・食事の内容などに気をつける</li> <li>・適度な運動をする</li> </ul> <p>4 がん検診の有効性を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●細菌や遺伝が原因のがんや、原因不明のがんに関してはどのような対策が取れるか。</li> <li>・検査を受ける</li> <li>●検査の結果、早期にがんが発見できると、どのくらいの人が治るのか。</li> <li>・約95%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎より良い生活習慣やがん検診が、がんを予防するのに有効な手段であることを理解する。【知識・理解】</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○[モジュール5]スライド6～7を用いて、がん検診の受診率が低いことを伝える。</li> <li>○[モジュール5]スライド1～5を用いて、検診による早期発見が治癒率を高くしていることを知らせ、定期的な検診の必要性を理解させる。</li> </ul> <p><b>※映像教材②「がんと生きる」 倉本久恵さんのエピソードの映像を流す</b></p>	<p>文部科学省補助教材「がん教育プログラム」 モジュール5</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>5 本時の学習についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●授業を通してわかったことや感じたこととは何か</li> <li>・自分の考えや感想、外部講師への謝辞を含め発表する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習の感想を書き、発表させる。</li> <li>○発表を聞くことで、自身の考えを深めさせる。</li> </ul> <p><b>※外部講師にまとめの話をさせていただくと効果的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎がんについて正しく理解し、予防のために自分ができることを考える。 【思考・判断】</li> </ul>	

- 1 単元名 現代社会と健康 (1) ア 現代社会と健康について理解を深めること  
(ウ) 生活習慣病などの予防と回復

2 本時の目標

- ・がんの種類や原因について理解する。
- ・がんの回復においては、手術療法・化学療法・放射線療法などの治療法があることを理解することができる。  
【知識・理解】
- ・治療法を決める時に必要なことを考えることができる。  
【思考・判断】

3 本時の展開

<文部科学省補助教材 中学校・高等学校版「がん教育プログラム」モジュール1・2・3・6活用>

段階	学習内容と活動 ●発問	○教師の指導・支援 ◎評価	資料
導入 5分	<p>1 本時の学習内容について確認する。</p> <p>●日本人の死亡原因の変化のグラフを見て気づいたことは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんが多い、がんが増えている</li> <li>・脳血管疾患、結核は減少している</li> </ul>	<p>○[モジュール2]スライド5「がんによる死亡数」の、日本人の死亡原因の変化のグラフを見て気づいたことを発表する。</p> <p><b>※がんに関する内容を扱うにあたって、生徒への配慮を行う。</b></p>	<p>文部科学省補助教材「がん教育プログラム」モジュール2</p>
<p>がんの種類や原因について理解し、がんの治療法などを知ろう。</p>			
展開 35分	<p>2 がんの原因についての理解を深める。</p> <p>●がんとはどんな病気か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・死亡する可能性が高い</li> <li>・遺伝子が傷つく</li> <li>・異常な細胞が増える</li> </ul> <p>●がんにはどんな種類があるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大腸がん ・肺がん</li> <li>・胃がんなど…</li> </ul> <p>●がんの原因は何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣、遺伝、ウイルスなど…</li> </ul> <p>3 がんの治療法の理解を深める。</p> <p>●がんはどのように治すのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手術、薬など…</li> <li>・手術療法 (外科的)</li> <li>・化学療法 (抗がん剤などの薬)</li> <li>・放射線療法</li> </ul> <p>●治療法を決める時に大切なことは何か。</p>	<p>○がんは特別な病気でないため、自分や家族に、身近な人がかかる可能性は高い。正しい知識を持たせるよう留意する。</p> <p><b>※個別に配慮する生徒を確認しておく。</b></p> <p>○[モジュール1]スライド4～6を用いてがんがどんな病気なのか確認をする。</p> <p>○[モジュール3]スライド3を用いてどんな種類があるか確認をする。</p> <p>○[モジュール1]スライド10～14を用いてがんの原因を確認し、ノートに記入させる。</p> <p>◎がんの種類や原因について理解する。 【知識・理解】</p> <p><b>※外部講師(医療関係者)にがんの原因について説明をしてもらうと効果的</b></p> <p>○[モジュール6]スライド1～3を用いてがんの治療法を確認し、ノートに記入させる。</p> <p>○ワークシート記入後、[モジュール6]</p>	<p>文部科学省補助教材「がん教育プログラム」モジュール1 モジュール3</p> <p>モジュール1 ワークシート</p> <p>モジュール6</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォームド・コンセント ※治療を決める時に大切なこと 病気、検査、治療などについて十分な説明を受け、理解した上でどのような医療を受けるか選択する。</li> <li>・セカンド・オピニオン ※治療方針は医師によって異なること 治療方針は医師によって異なることがあり、別の医師の意見を聞いてもよい。</li> </ul>	<p>スライド4～6を用いて、治療法を決める際の大切なことを説明する。</p> <p><b>※外部講師(医療関係者)にがんの治療法と決める際の大切なことについて説明をしてもらうと効果的</b></p> <p>○医師からの説明は、聞き手側になりがちだが、分からない事や疑問点があった際に遠慮なく聞くことが大切である。</p> <p>◎がんの回復においては、手術療法・化学療法・放射線療法などの治療法があることを理解することができる。 【知識・理解】</p>	
<p>まとめ 10分</p>	<p>4 本時の学習についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●授業を通してわかったことや感じたことは何か</li> <li>・自分の考えや感想、外部講師への謝辞を含め発表する</li> </ul>	<p>○本時の学習の感想を書き、発表する。</p> <p>○発表を聞くことで、自身の考えを深めさせる。</p> <p><b>※外部講師にまとめの話をしていたくと効果的</b></p> <p>◎治療法を決める時に必要なことを考えることができる。 【思考・判断】</p>	